

株式会社F・ジャパン

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL 0739-26-7297 FAX 0739-26-0506

HP : <http://f-japan.holy.jp>

## 保険お役立ち情報

# 保険を見直す時期とは・・・



保険の補償を見直すタイミングは人生の中でいくつもあります。就職、結婚、家の購入など、家族を取り巻く状況の変化によって、必要な補償額も変わってきます。ここでは見直しが必要になる時期や、一般的な保障内容についてご説明をいたします。ライフステージそれぞれに「補償」の目的をしっかり定めたうえで検討する必要があります。



### 婚約・結婚

今まで加入していた保険や保障額をチェックしましょう。万一の死亡保険金の受取人は配偶者に変更を。夫は増額、妻は減額、専業主婦なら不要になるケースがほとんどです。



### 妊娠・出産

子どもが生まれたら、万一の時に家族が生活に困らないだけの死亡保障の見直しを。子どもの養育費や学費など、今までの保険で不足する額を上乗せします。専業主婦も、子どもが小さい間は多少の死亡保障があったほうがいいでしょう。

### 親を扶養

親を実質的に扶養することになり、自分に万一のことがあった場合に、親にもお金を残したい場合はその分、死亡保障を増額しましょう。



### 妻の就職・離職

フルタイムで働いていた妻が、仕事を辞めた場合、また反対に、専業主婦だった妻が仕事を始めた場合には、夫の死亡保障額を見直しましょう。



### 子どもが独立

子どもが経済的に独立したら、貯蓄との兼ね合いで保険は必要な保障だけに絞りましょう。万一の時、妻の生活を支える程度の死亡保障を確保して、多い分は減額を。また、健康なうちに老後の医療保障を見直しておくと安心です。

### 就職

就職をして親から経済的に自立した時は、まずは医療保険に加入しましょう。自分に万一のことがあった時、親にお金を残したい方は、死亡保障もつけておきましょう。



### 家の購入

家の購入住宅ローンを利用して住宅を購入した時、団体信用生命保険に加入しておけば、万一の時には、残ったローンは保険金で相殺されます。家賃が無くなる分、死亡保障額を減額できる場合もあります。



**お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません。**

私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。